



『大崎中剣道部が全国大会で・・・！』

12月24日～27日までの4日間、兵庫県立武道館で行われた内閣総理大臣杯授与第25回若鷲旗剣道大会（全国大会）において、大崎中学校剣道部が、堂々の準優勝を果たしました。

大会は、全国から選ばれた89校で競技され、その予選リーグを1位で通過した大崎中学校剣道部は、決勝トーナメントで、熊本県の九州学院中学校に敗れましたが、準優勝という素晴らしい成績を収めました。

主将の森永健太君は「他のチームとの剣の交わりや対戦により、剣のスピードや技、礼儀作法等を学んだ。この大会で経験したことをこれからの練習に生かし、優勝を目指したい」と話してくれました。

『本の世界はこちらですよ！』

12月16日(日)、町中央公民館大ホールで行われた「図書館まつり」は、絵本の展示や舞台でのパネルシアター、人形劇、大型紙芝居などが次から次へと繰り出され、会場は、まるで本の世界の中にいるような雰囲気となった。

その中でオープニングを務めたのは、大崎中学校の男子生徒6名によるダンスだった。来場した皆さんからは「アルゴリズム体操」「おしりかじりむし」「アンパンマン体操」などの軽快なリズムに合わせて楽しく踊る中学生を見て、思わず笑顔が溢れていた。



うやく火入れ式の準備完了。宮司の山崎道夫さん（西谷集落）による神事が始まると、子ども達も真剣な表情に早変わり。児童を代表して、鎌田裕生君（大崎小4年生）が竹炭窯に火を入れると、もくもくと煙が上がり、赤々と火が燃え出した。竹炭窯の周りを囲った子ども達は、良い炭ができるように、みんなで大きく手を打ち鳴らした。

「くにの松原ネイチャーゲームの会」の中山美幸さんは、「単に体験学習をするのではなく、その先を一步いった、自然の流れや伝統的行事など、総合的なものづくりを体験してほしい」と語った。

『手づくり竹炭窯の火入れ式』

広報おおさき1月号で紹介した、『水質検査に驚きの結果・・・！』を受け、「くにの松原ネイチャーゲームの会」は、汚染された水を竹炭により浄化することを計画していたが、12月25日(火)、大丸地区の竹林で、子ども達が自分達で作った竹炭窯の火入れ式を行った。

ドラム缶の周りをシラスで覆った竹炭窯の中には、子ども達がノコギリやナタで切り出した竹がいっぱいに敷き詰められ、窯に空気が入らないように、蓋をした上から子ども達が練った泥をコテで丁寧に塗り、よ

